

関係各位

一般社団法人 日本技術者連盟
会長 村上 雅人（前 芝浦工業大学学長）

『ポーランド及びドイツ（ミュンヘン）における防衛産業と サプライチェーン強靱化調査団』 派遣に伴うご案内

拝啓 時下益々ご清栄の段大慶に存じます。平素はご支援賜わり厚く御礼申し上げます。

政府は、令和4年12月に「国家安全保障戦略」、「国家防衛戦略」及び「防衛力整備計画」から成るいわゆる「戦略三文書」を策定し、これに基づき、防衛力の抜本的強化、防衛生産・技術基盤の強化及びサプライチェーンの強靱化を推進してまいりました。さらに、本年4月には、戦略三文書の改定に向けた検討が具体化し、安全保障環境の変化を踏まえた防衛力の変革や防衛生産・技術基盤の強化等について議論が進められております。

一方、令和4年に始まったロシアによるウクライナ侵略を契機として、欧州においては、防衛費の増額、生産能力の強化、サプライチェーンの強靱化、国際共同開発・共同生産等の取組が急速に進展しております。特に、ポーランドでは防衛力及び防衛産業基盤の強化が進められており、ドイツ（ミュンヘン）には、欧州を代表する防衛関連企業や研究機関等が集積しております。

そこで今般、ポーランド及びドイツ（ミュンヘン）の政府関係機関、企業及び研究機関等を訪問し、防衛産業の生産基盤強化、サプライチェーンの強靱化、品質保証、技術開発及び国際共同開発・共同生産等の取組について調査するとともに、アウシュヴィッツ＝ビルケナウ国立博物館等を訪問し、戦争の歴史と教訓について学ぶ調査団を実施いたします。

日本技術者連盟が主催する米国及び欧州の防衛産業等に関する調査団は、これまで複数回実施しており、いずれも大きな成果を上げてまいりました。

今回の調査団では、公益財団法人防衛基盤整備協会 理事長 鎌田 昭良 氏（元防衛省官房長、元防衛省装備施設本部長）に団長をお引き受けいただくこととなっております。

本調査団では、ウクライナ戦争を契機として変化する欧州の防衛産業、生産基盤及びサプライチェーンの実態を把握し、我が国の防衛生産・技術基盤の強化等に資する知見を得ることを目指しております。

調査団の趣旨、調査項目、日程等の詳細につきましては、別添の参加要項をご高覧いただき、ぜひご参加賜りますようお願い申し上げます。

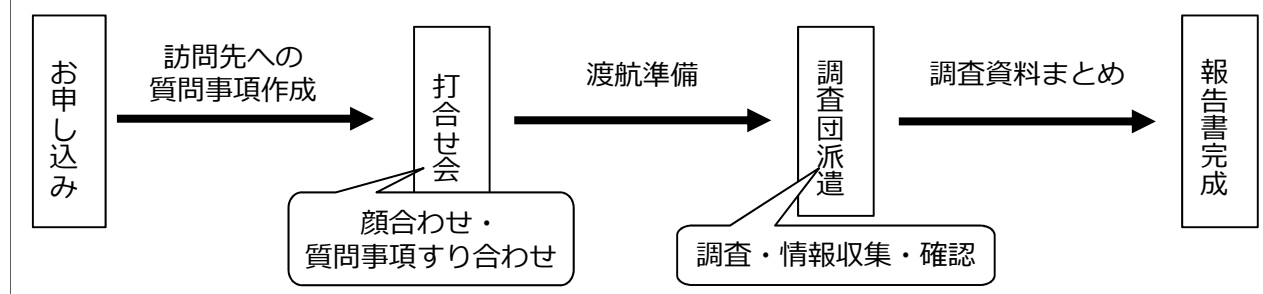
ご参加頂ける場合は、一般社団法人日本技術者連盟事務局まで E-mail（gyomu1@jef-site.or.jp）にてお申込みください。お申込み方法の詳細についても、参加要項のページをご覧ください。

尚、お申し込み締切は、**2026年10月15日（木）**と致します。

皆様のご参加をお待ち申し上げます。

敬具

お申込から調査団完了までの流れ



一般社団法人日本技術者連盟

〒107-0052 東京都港区赤坂2-17-12 チュリス赤坂 1302号

TEL: 03-6229-1946 FAX: 03-6229-1940

E-mail: gyomu1@jef-site.or.jp

URL: <http://www.jef-site.or.jp>

URL: <https://www.wkx21c.org>

『ポーランド及びドイツ（ミュンヘン）における防衛産業とサプライチェーン強靱化調査団』 派遣に伴うご案内

1. テーマ 『ポーランド及びドイツ（ミュンヘン）における防衛産業とサプライチェーン強靱化調査団』
2. 期 間： 2026年12月5日（土）～12月13日（日）（9日間）
3. 主 催： 一般社団法人 日本技術者連盟（JEF）
4. 後 援： 公益財団法人 防衛基盤整備協会
一般財団法人 防衛技術協会
5. 団 長： 防衛基盤整備協会 理事長： 鎌田 昭良（かまた あきら） 氏

来歴



1980年 東京大学経済学部卒業
1980年 防衛庁入庁。防衛局運用第二課
1997年1月から同年12月 英国国防大学（RCDS）
1999年7月～2001年7月 資源エネルギー庁新エネルギー対策課長
2003年8月 防衛庁官房広報課長
2004年7月 防衛庁官房秘書課長
2006年7月 防衛庁官房審議官兼情報本部副本部長
2007年9月 防衛省沖縄防衛局長
2008年1月 防衛省北関東防衛局長
2010年10月 防衛省大臣官房報道官
2012年1月 防衛省大臣官房長
2013年7月 防衛省装備施設本部長
2014年7月 退職
2014年11月 東京海上日動火災保険株式会社顧問
2017年6月 公益財団法人防衛基盤整備協会理事長

6. 調 査 項 目：

- ① 欧州における防衛産業政策・生産基盤の変化
- ② 防衛産業のサプライチェーン強靱化
- ③ 国際共同開発・共同生産等の取組
- ④ 防衛技術・生産・品質保証の取組
- ⑤ ポーランド及びドイツ（ミュンヘン）の防衛産業の実態と我が国への示唆

『ポーランド及びドイツ（ミュンヘン）における防衛産業とサプライチェーン強化調査団』
日程表案

2026年12月5日（土）～12月13日（日） 9日間

目次	月・日・曜	都市名	交通機関	現地時間	スケジュール	食事
1	12月5日 （土）	東京	NH203	23:00	羽田空港 発 機中泊	機内食
2	12月6日 （日）	フランクフルト ワルシャワ	NH6707 地上交通	5:30 10:35 12:35 13:00	フランクフルト空港 着 フランクフルト空港 発 ワルシャワ空港 着 ホテル着 ブリーフィング・市内視察（非公式） ワルシャワ泊	朝 ○ 昼 ○ 夕 ○
3	12月7日 （月）	ワルシャワ	地上交通	8:30 9:00～11:00 13:00～14:30 15:00～17:00 17:30	ホテル発 ポーランド国防省（政府機関）訪問 ポーランド装備庁（政府機関）訪問 PGZ（企業）又はLukasiewicz-ITR（研究機関）訪問 ホテル着 ワルシャワ泊	朝 ○ 昼 ○ 夕 ○
4	12月8日 （火）	ワルシャワ スカルジスコ＝カミエンナ クラクフ	地上交通	8:00 13:00～15:00 18:15	ホテル発 MESKO S.A.（企業）訪問 ホテル着 クラクフ泊	朝 ○ 夕 ○
5	12月9日 （水）	オシフィエンチム クラクフ	地上交通	7:30 9:00～12:30 15:00～16:30 16:45	ホテル発 アウシュヴィッツ＝ビルケナウ国立博物館 視察 クラクフ国内軍博物館 視察 ホテル着 クラクフ泊	朝 ○ 昼 ○ 夕 ○
6	12月10日 （木）	クラクフ ミュンヘン	地上交通 LH1623	8:30 9:00～10:30 11:00 13:25 14:50 15:50 16:30～18:15 18:15～18:45 19:15	ホテル発 AGHクラクフ大学（研究機関）訪問 クラクフ空港 着 クラクフ空港 発 ミュンヘン空港 着 ミュンヘン空港 発 ミュンヘン国家社会主義資料センター 視察 ケーニヒス広場及び旧ナチ党本部関連施設 視察 ホテル着 ミュンヘン泊	朝 ○ 昼 ○ 夕 ○
7	12月11日 （金）	ミュンヘン	地上交通	8:00 9:00～11:00 13:00～14:30 15:00～16:30 17:00	ホテル発 Airbus Defence and Space（企業）訪問 HENSOLDT（企業）訪問 IABG（企業）訪問 ホテル着 ミュンヘン泊	朝 ○ 昼 ○ 夕 ○
8	12月12日 （土）	ミュンヘン	地上交通 LH714	7:00 8:00 10:25	ホテル発 ミュンヘン空港 着 ミュンヘン空港 発 機中泊	朝 ○ 昼 ○ 機内食
9	12月13日 （日）	東京		6:55	羽田空港 着	機内食

※上記日程の記載内容は予定であり、訪問先を含め、今後変更になる場合があります。

予定訪問先及び概要： 訪問先は都合により変更になる場合もございますので、予めご了承下さい。

主要訪問候補と調査上の狙い

（１）ワルシャワ：政策・調達・産業全体を把握する拠点

- ① **ポーランド国防省**：防衛産業政策、防衛力整備、NATOとの役割分担、サプライチェーン強靱化、韓国との共同生産政策を確認。
- ② **ポーランド装備庁（Armament Agency）**：調達制度、品質保証、国際共同開発、調達改革、ライフサイクル管理を確認。
- ③ **PGZ（Polska Grupa Zbrojeniowa）**：防衛産業戦略、生産能力拡大、品質保証、部品供給網、国際共同生産を確認。

その他候補：

- 防衛産業関係業界団体：防衛産業全体の動向、中小企業、サプライチェーン、人材、欧州企業との連携を確認。

（２）ワルシャワ：防衛イノベーションを把握する拠点

- ④ **Łukasiewicz Research Network**：AI、新素材、防衛研究、スタートアップ、産学官連携を確認。

その他候補：

- **National Centre for Research and Development（NCBR）**
防衛研究開発制度、技術移転及びイノベーション支援を確認。
- **WB Group**：ドローン、AI、電子戦、通信及び軍民融合を確認。

（３）スカルジスコ＝カミエンナ／キェルツェ：増産・生産基盤を現場で確認

- ⑤ **MESKO S.A.**：弾薬・ミサイルの増産、生産能力強化、品質保証、自動化及び サプライチェーンを確認。

その他候補：

- **PIT-RADWAR**：レーダー、防空システム、センサー及び指揮統制を確認。
- **Świętokrzyskie Industrial and Technology Park**：防衛関連中小企業、技術移転及び地域産業クラスターを確認。

（４）クラクフ：同国の歴史的古都であり、学術・文化の中心地

- ⑥ **AGH科学技術大学：（AGH University of Krakow）**

ポーランドを代表する最も歴史的かつ最高峰の国立工科大学・研究機関の一つ。

（５）ミュンヘン：技術・生産・評価機能を横断的に把握する拠点

- ⑦ **Airbus Defence and Space**：航空宇宙、宇宙、衛星、Eurofighter及び 国際共同開発を確認。
- ⑧ **HENSOLDT**：電子戦、AI、センサー及びレーダーを確認。
- ⑨ **IABG**：試験評価、品質保証、デジタルエンジニアリング及びシステム認証を確認。

その他候補：

- **Bavarian Aerospace Cluster**：航空宇宙産業政策、中小企業、サプライチェーン及び スタートアップを確認。
- **BDSV**：ドイツ防衛産業政策、欧州共同調達、サプライチェーン、中小企業、人材及び スタートアップを確認。
- **MBDA Deutschland**：ミサイル共同開発、品質保証、国際共同生産及びサプライチェーンを確認。
- **Quantum Systems**：AIドローン、ソフトウェア、軍民融合及び無人システムを確認。
- **ミュンヘン連邦軍大学**：AI、無人システム、防衛技術及び人材育成を確認。

『ポーランド及びドイツ（ミュンヘン）における防衛産業とサプライチェーン強靱化調査団』 参加要項

1. 参加対象

防衛産業に携わる企業／団体／公的機関、また今後 防衛産業に参入する意思のある
中堅・中小企業及び スタートアップ企業関係者の皆様。

2. 募集人員：15名

3. 参加費：¥1,950,000-（税別・お申込金 50万円（消費税別）が含まれております）

4. 通訳・プロジェクトマネージャー：全行程同行

5. ホテル：一人部屋

6. 総合事務局：株式会社アジア技術移転機構 東京都港区赤坂2-17-12 チュリス赤坂 1302号 TEL: 03-6229-1950

7. 運営実施：観光庁長官登録旅行業者

8. 申込方法：最終ページの参加申込書に必要事項をご記入の上、以下の3点を添えて、

2026年10月15日（木）までに、E-mail（gyomu1@jef-site.or.jp）

にてお申込み下さい。すぐに担当者より、ご連絡申し上げます。

- 参加者のパスポートの顔写真のついたページのカラーコピー
（パスポートを取得されていない場合は、取得予定日をお知らせください）
- 名刺のコピー（和文と英文）
- メンバーリスト作成用 顔写真のデータ（パスポート取得時のものでも可能）

9. 代金支払：一般社団法人 日本技術者連盟の総合事務局、株式会社アジア技術移転機構より 請求書をご送付申し上げます。期日までにお振込み下さいますよう、お願い申し上げます。

※ 稟議の都合上お申込みが締切日を過ぎる場合や、参加者にご変更の可能性がございます場合には、
お手数ですが日本技術者連盟（電話03-6229-1946）までお問い合わせ下さい。

※ 日程その他に変更が生じた場合には、参加要項に変更がありますことを予めご了承下さい。

これまでJEFが実施した海外調査団・視察団の参加者から寄せられた声

「実際の施設や製造現場を見ることで、資料やオンライン上だけでは分からない技術や
現場の実情を肌で感じることができました。」

「訪問先の責任者や専門家と直接、率直な意見交換ができたことは、大変貴重な経験でした。」

「通常では訪問が難しい施設や現場を訪ね、最先端の技術や産業動向にナマで触れることが
できたことは、大きな収穫でした。」

「異なる業種・専門分野の他の参加者と1週間以上、行動を共にしたことで、新しい交流が生まれ、
今後の企業間連携にもつながると感じました。」

「これまでは海外企業との連携には少し距離を感じていましたが、実際に現地で交流経験を通し、
そのハードルが大きく下がりました。」

「海外の研究開発、実証、産業化、人材育成において、直接の相互交流を通じて、
日本が今後取り組むべき 課題について改めて考える機会となりました。」

参加費に含まれるもの

I) 旅行上の諸費用

- 団体エコノミークラス航空運賃
- 燃油特別付加運賃、空港税等
- ホテル宿泊費（税・サービス料含む）
- 食事代（日程記載分。飲物は含まず）
- 現地陸上交通費（空港・ホテル・視察先への車代、ガイド代、列車代、チップ代等）
- 会議参加費及び施設等見学費
- 団長・通訳・プロジェクトマネージャー同行費用

II) 現地諸機関折衝及び手配料

- 現地 手配費用
- 現地 事前打合せ出張等諸費用

III) 企画・運営業務費など

- 企画運営費及びコーディネート費
- ツアー管理費
- 事前打合せ会/調査関連資料提供費
- 調査報告書作成費 他

その他

- ◆ 参加費は、2026年8月10日時点の運賃の10名の参加者数に準拠したものです。ご出発前に、参加人員や燃油特別付加運賃に大幅な変更があった場合、参加費用や参加条件が変更になる可能性もございますので予めご了承下さい。

参加における注意事項

■ 海外旅行保険について

ご出発前に、特に以下の点をご考慮の上、海外旅行保険にご加入頂けますよう、お願い申し上げます。

所属先企業としてご加入されている場合は、事前に補償内容についてのご確認をお願い致します。

- 提携病院の有無（あればその病院名、住所、通訳サービスの有無、医療費一時支払必要性の有無など）
- 飛行機が遅延した際の費用保障
- 保険会社名、保険加入番号、緊急時連絡先
- 補償限度額（入国時に、補償額への条件を設けた海外旅行保険加入を義務付けている国がございます）

■ 渡航前準備について

訪問先の入国時に、査証が必要となる場合がございます。

査証取得のお手続き、費用のお支払い等については、ご参加者様ご自身にてお願い致します。

詳細につきましては、事務局にお問い合わせください。また事前打ち合わせ会でも、詳しくご説明する予定です。

一般社団法人日本技術者連盟 役員構成

会長	村上 雅人	大学共同利用機関法人情報・システム研究機構 監事、前芝浦工業大学学長、工学博士
顧問	野々内 隆	元 通商産業省資源エネルギー庁 長官元一般財団法人経済産業調査会 理事長
	斎藤 信男	慶應義塾大学 名誉教授 工学博士
	松井 一秋	一般財団法人エネルギー総合工学研究所 研究顧問
理事	井戸田 勲	一般社団法人日本技術者連盟 専務理事
	梶原 豊	高千穂大学 名誉教授 経営学博士
	浮舟 邦彦	学校法人滋慶学園 総長 Ph.D.
	内藤 香	元 公益財団法人核物質管理センター理事長
	林道 寛	元 国立研究開発法人日本原子力研究開発機構 バックエンド推進部門長

参加費に含まれないもの

原則として左記以外は含まれません。その一部を例示します。

- 渡航手続き諸費用（旅券取得費用、渡航手続取扱料金等）
- 個人的経費（電話代、クリーニング代、チップ、飲み物代等）
- 集合時及び解散後の交通費
- 超過手荷物料金
- 任意の海外旅行傷害保険費用
- ご自身の障害・疾病に関する医療費

キャンセル規定（特別キャンセル規定）

- お申し込み後～旅行開始日の31日前まで：申込金50万円（税別）に加え、航空券・宿泊・現地手配等に要した取消料の実費。
- 旅行開始日の30日前～3日前まで：参加費の50%、及び企画手配料30万円。ただし、航空券や現地地上手配等の取消料の実費が参加費の50%を超える場合は、当該実費総額を優先して適用します。
- 旅行開始日の前々日以降：参加費の100%（全額）
- ※戦争、内乱、テロ、自然災害等の不可抗力により、当事務局が催行中止を判断した場合、あるいは参加者が渡航不能となった場合においても、すでに発生している航空会社・ホテル等へのキャンセル料実費、および企画手配料については、参加者のご負担となります。

主催 : 一般社団法人日本技術者連盟 (Japan Engineers Federation : JEF)
総合事務局 : 株式会社アジア技術移転機構 (Asia Technology Transfer Organization, Inc. : ATTO)
〒107-0052 東京都港区赤坂2-17-12 チュリス赤坂 1302号
TEL : 03-6229-1946 (JEF) / 03-6229-1950 (ATTO)

『ポーランド及びドイツ（ミュンヘン）における防衛産業とサプライチェーン強靱化調査団』
参加申込書

一般社団法人 日本技術者連盟（J E F）行

会社名・団体名

所属名/役職名

フリガナ

参加者氏名

生年月日

西暦

年

月

日

パスポート記載名
(ローマ字 姓名)

英文表記名
(Mr. Ms. Dr. Ph.D.なども記載)

E-mail

携帯電話番号

ご住所

電話番号

FAX番号

ご住所

電話番号

フリガナ

担当責任者名
今回の参加について
状況をご存知の方

印

所属名/役職名

電話番号/E-mail

旅券（パスポート）について
今回の旅行に必要な旅券を
お持ちですか。
(日本帰国日より3か月以上の
残存期間が必要)

① はい

旅券番号：

有効期限

西暦

年

月

日

② いいえ

取得予定日 2026 年 月 日 （ 月 日までには必ず取得してください）

強いアレルギーなど
ございますか

通信欄
ご質問・ご希望等

マイレージをお持ちの方は番号をご記載ください（例 JAL 1234567、ANA 2345678 他）

個人情報保護方針

旅行申込書にご記入いただく、氏名、年齢、生年月日、電話番号、メールアドレス、住所、勤務先等の情報は「個人情報」に該当しますので、企画主催・企画実施・取扱旅行社・総合事務局は以下に掲げる個人情報の取扱いに関する基本方針及び個人情報に関して適用される法令を遵守して、お客様に関する個人情報の適正な管理・利用と保護に万全を尽くします。

1. 個人情報保護利用の目的

お客様がお申し込みになられた運送、宿泊その他の旅行に関するサービス（以下「旅行サービス」といいます）を手配するために必要な範囲で情報を利用いたします。また、旅行サービス提供機関に対し、お客様の氏名、パスポート番号及び現地滞在先等をあらかじめ電子的方法等で送付することによって提供します。

2. 個人情報の開示・提供

下記の場合を除き、お客様からお預かりした個人情報を第三者に開示・提供いたしません。

ア.ご本人の同意がある場合

イ.旅行サービス提供機関や販売店の手配業務委託先に、旅行サービス手配に必要な最小限度の情報を開示・提供する場合。

ウ.法的な命令等により個人情報の開示・提供が求められた場合。

3. 個人情報に関するご質問、又はご意見は、総合事務局にてお受けいたします。

企画主催：一般社団法人日本技術者連盟

<http://www.jef-site.or.jp> / <http://www.wkx21c.org> / E-mail : gyomu1@jef-site.or.jp

総合事務局：株式会社アジア技術移転機構
〒107-0052 東京都港区赤坂2-17-12 チュリス赤坂 1302号

TEL : 03-6229-1950
FAX : 03-6229-1940